

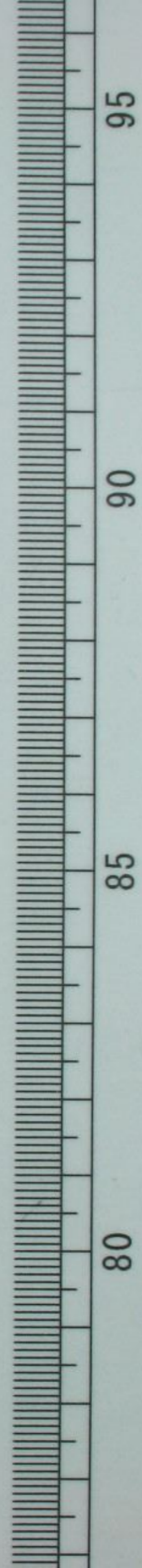


清一水奉子第記

四

~~D  
1013  
4~~

逍遙文庫  
文庫 6  
982  
4



濟州府志

七



万亭應賀作

文庫 6  
982  
4

飯嶋  
所藏

重寶記

紅がめは縮ちりめん油のつきたるあかき草と  
 皂角をせんとたるあかき草と  
 つたさる油を少くする  
 洗ひ色うのびよくある  
 あり又の女縮  
 縮ぢうめんひざねとあらふ  
 あか山梅子のせんとたるあか  
 船を少くするあらふ  
 縮ちりめんひざねとあらふ  
 縮ちりめんひざねとあらふ  
 縮ちりめんひざねとあらふ  
 縮ちりめんひざねとあらふ



縮ちりめんひざねとあらふ  
 縮ちりめんひざねとあらふ  
 縮ちりめんひざねとあらふ  
 縮ちりめんひざねとあらふ  
 縮ちりめんひざねとあらふ  
 縮ちりめんひざねとあらふ  
 縮ちりめんひざねとあらふ  
 縮ちりめんひざねとあらふ  
 縮ちりめんひざねとあらふ  
 縮ちりめんひざねとあらふ



御所奉公東日記七編序

美濃信濃兩國の間ふ箒木といふゆゑあり是を遠く望  
 めるはるるがう箒木の如くふ見ゆ又近づきて是を見るは其影形ゆ  
 りしとほろふ仍て在るゆゑ思ふべき木と歌誹ゆゆ詠り  
 是と此冊子に意よく似たり抑源右幕下より二代三代の將  
 軍及び諸臣の善悪以至年月日則遠く望に箒木の如く  
 空言而已ゆゆ其事實を著せり又間所は戯述あるは  
 則近く見ざる箒木の如く在ると見ざる正ゆゑ無くと見  
 らる正ゆゑありやと問ふ人みまかざるゆゑありやとあり原の  
 東下りゆ東日記を見て詠ゆ万亭集に見えたる也

安政三年丙辰初春新刻 長恩堂(圓十) 應賀誌(圓)





重政を討つ

宇佐美與市

大東の白拍子

重政奸計  
露路顕及び  
誅戮



大河戸

重成三郎  
を討つ

重政の首

重成

詭者 稲毛三郎重成  
入道 同子息 小次郎

東日言七



牧  
の  
方

元久二年  
閏七月廿九日  
名越北条  
亭  
實朝  
御  
危難  
あ  
玉

時  
政

鎌倉三代の  
武將實朝卿

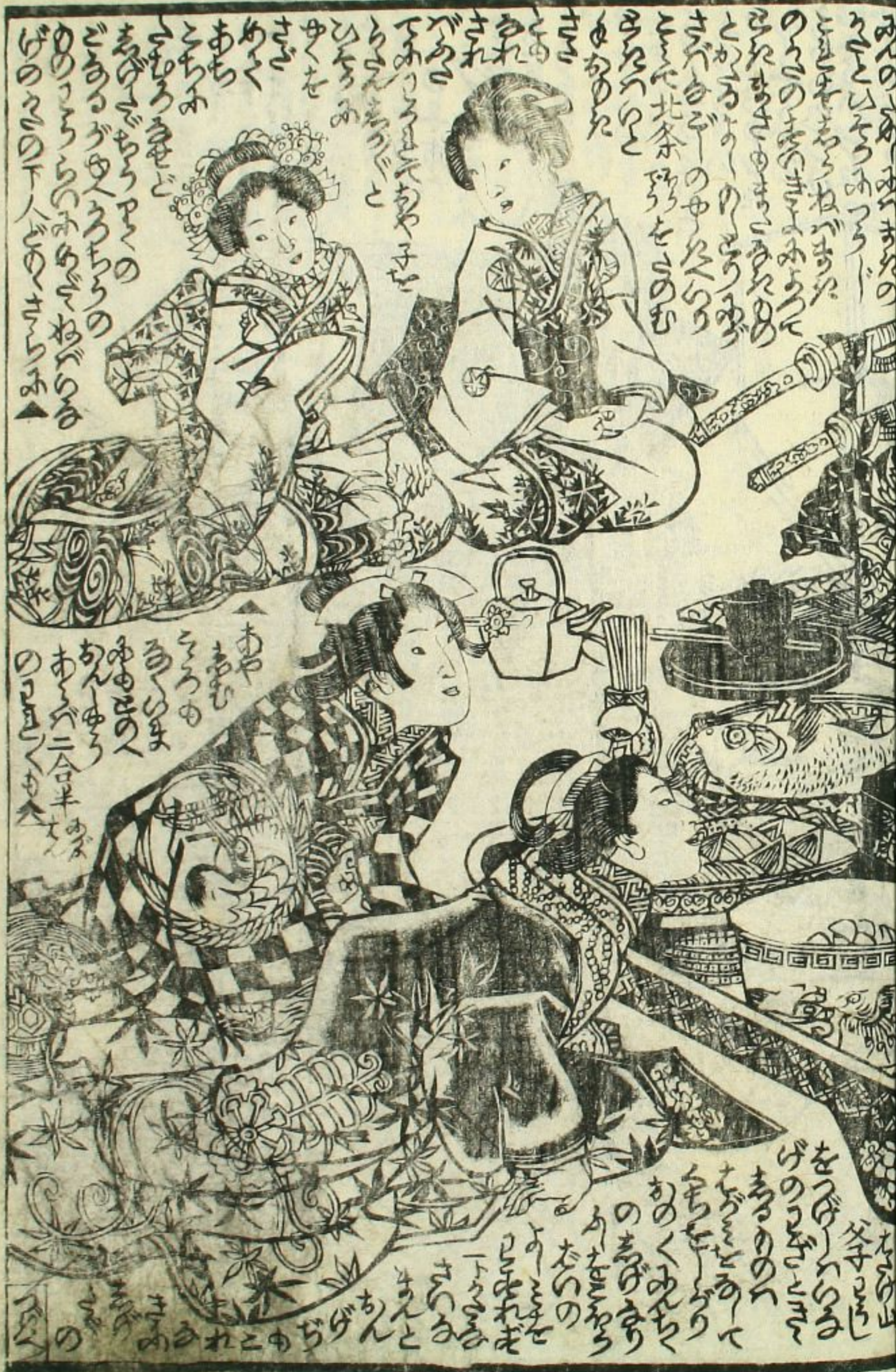
故  
城七郎朝光

東  
田  
記  
七









東方 七

The picture is a woodblock print illustration from a Japanese book. It depicts a scene with several figures. In the foreground, a woman in traditional Japanese attire is seated or kneeling, holding a small object. Behind her, another figure is partially visible. The background shows a simple architectural structure, possibly a doorway or a screen. The illustration is surrounded by columns of handwritten Japanese text in kuzushiji script.

三西人をひたりし  
 女守まきの  
 わまらぬおち  
 おろすおち  
 ひらきおち  
 きのり

三西人をひたりし  
 女守まきの  
 わまらぬおち  
 おろすおち  
 ひらきおち  
 きのり

三西人をひたりし  
 女守まきの  
 わまらぬおち  
 おろすおち  
 ひらきおち  
 きのり

三西人をひたりし  
 女守まきの  
 わまらぬおち  
 おろすおち  
 ひらきおち  
 きのり

三西人をひたりし  
 女守まきの  
 わまらぬおち  
 おろすおち  
 ひらきおち  
 きのり

三西人をひたりし  
 女守まきの  
 わまらぬおち  
 おろすおち  
 ひらきおち  
 きのり

三西人をひたりし  
 女守まきの  
 わまらぬおち  
 おろすおち  
 ひらきおち  
 きのり

三西人をひたりし  
 女守まきの  
 わまらぬおち  
 おろすおち  
 ひらきおち  
 きのり

三西人をひたりし  
 女守まきの  
 わまらぬおち  
 おろすおち  
 ひらきおち  
 きのり

三西人をひたりし  
 女守まきの  
 わまらぬおち  
 おろすおち  
 ひらきおち  
 きのり

東方 七

東方 七

The picture is a woodblock print illustration from a Japanese book. It depicts a scene with several figures. In the foreground, a woman in traditional Japanese attire is seated or kneeling, holding a small object. Behind her, another figure is partially visible. The background shows a simple architectural structure, possibly a doorway or a screen. The illustration is surrounded by columns of handwritten Japanese text in kuzushiji script.

三西人をひたりし  
 女守まきの  
 わまらぬおち  
 おろすおち  
 ひらきおち  
 きのり

三西人をひたりし  
 女守まきの  
 わまらぬおち  
 おろすおち  
 ひらきおち  
 きのり

三西人をひたりし  
 女守まきの  
 わまらぬおち  
 おろすおち  
 ひらきおち  
 きのり

三西人をひたりし  
 女守まきの  
 わまらぬおち  
 おろすおち  
 ひらきおち  
 きのり

三西人をひたりし  
 女守まきの  
 わまらぬおち  
 おろすおち  
 ひらきおち  
 きのり

三西人をひたりし  
 女守まきの  
 わまらぬおち  
 おろすおち  
 ひらきおち  
 きのり

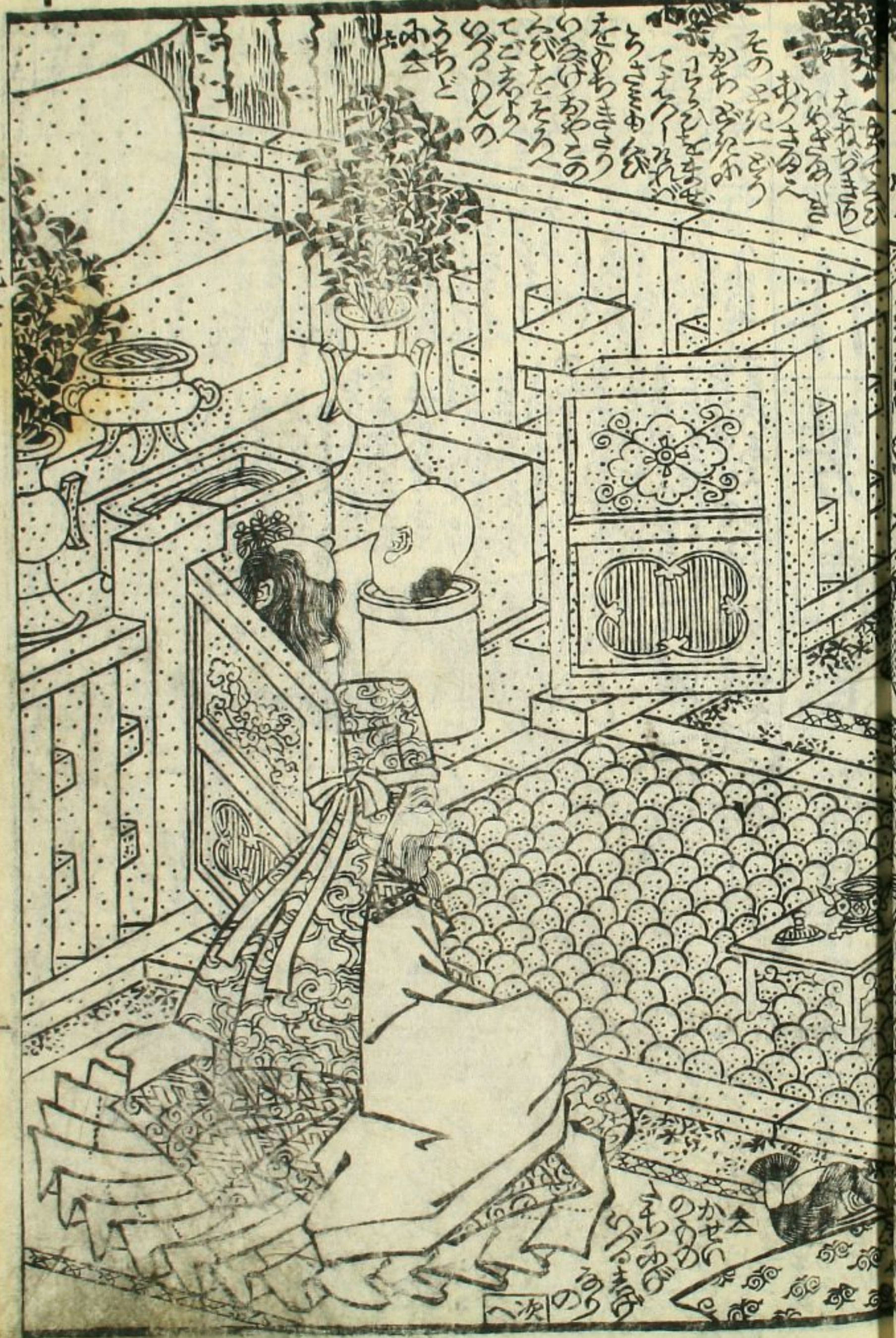
三西人をひたりし  
 女守まきの  
 わまらぬおち  
 おろすおち  
 ひらきおち  
 きのり

三西人をひたりし  
 女守まきの  
 わまらぬおち  
 おろすおち  
 ひらきおち  
 きのり

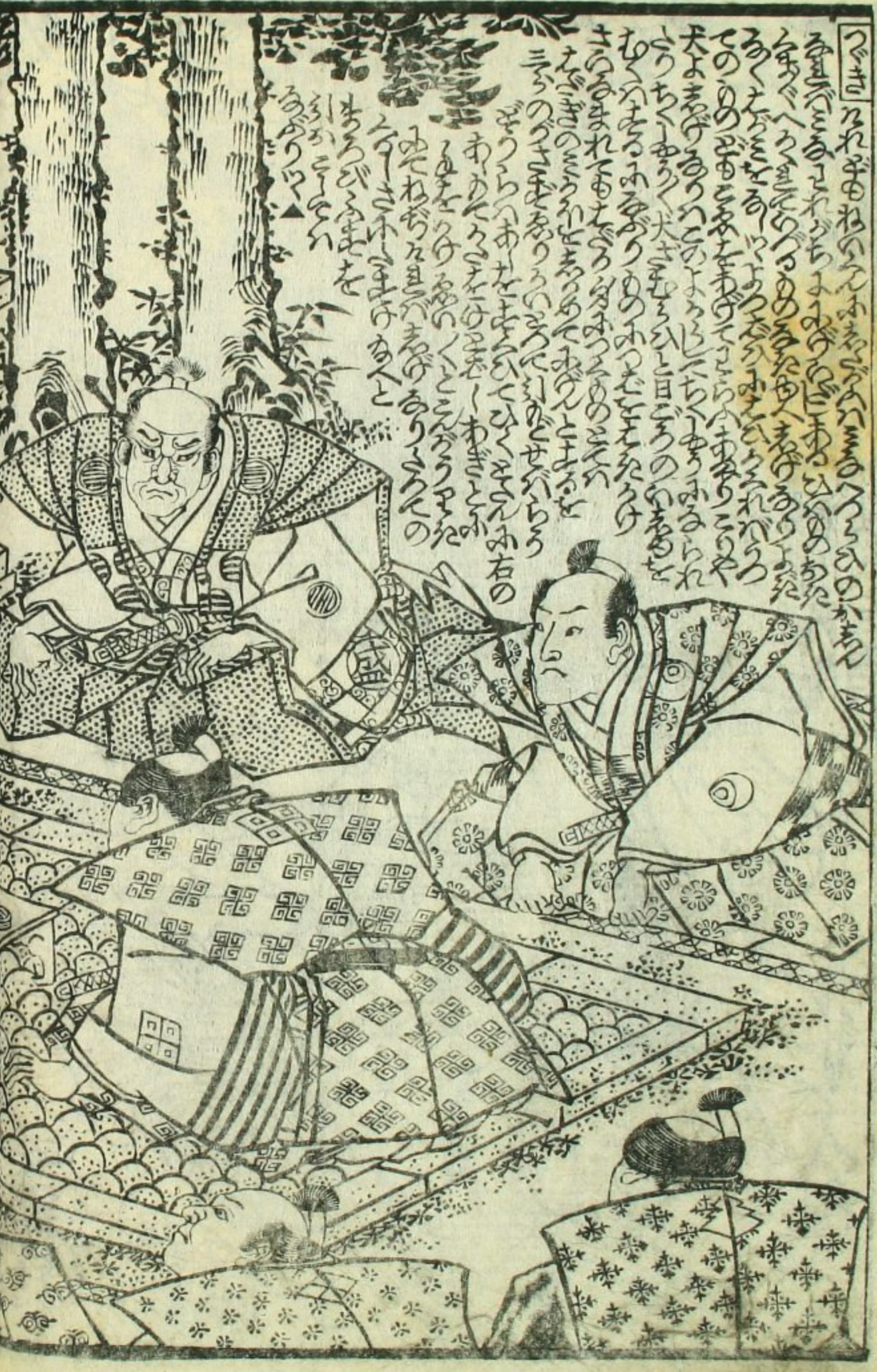
三西人をひたりし  
 女守まきの  
 わまらぬおち  
 おろすおち  
 ひらきおち  
 きのり







山田 四十一



東日言七

九

丙辰春錦橋堂新板

**寐小使の太奇薬**  
 一包代  
 小使男女子も一色も治る。東方之

**精製白妙**  
 一包代  
 北二銅  
 清浄  
 まろ  
 移ハのつるごをまた  
 方はともゆるぶろの中

**御薬 固齧散**  
 大包代百銅  
 小包代無銅  
 功一ぬき石 一うたえ 一うき血  
 能一血のくる 一たをなき  
 能。用い毎うのうぶふうくおまをハ

**庄**  
 地本 江中橋廣小路  
 錦繪 **山田屋庄次郎**

**黄甫文美箱**  
 中形山 東 巷  
 全冊京山 作

**雛鳥世湯壽**  
 紅摺 山東菴京山作  
 大本 一冊一陽齋豊國画

**英雄五分**  
 五編万亭應賀作  
 揃一陽齋豊國画

**葛葉九重錦**  
 五編万亭應賀作  
 揃一陽齋豊國画

**浮深鳥朧漣**  
 五編空中樓花咲作  
 揃一陽齋豊國画

應賀作 芳虎画



一猛齋芳虎画

下

錦橋堂梓







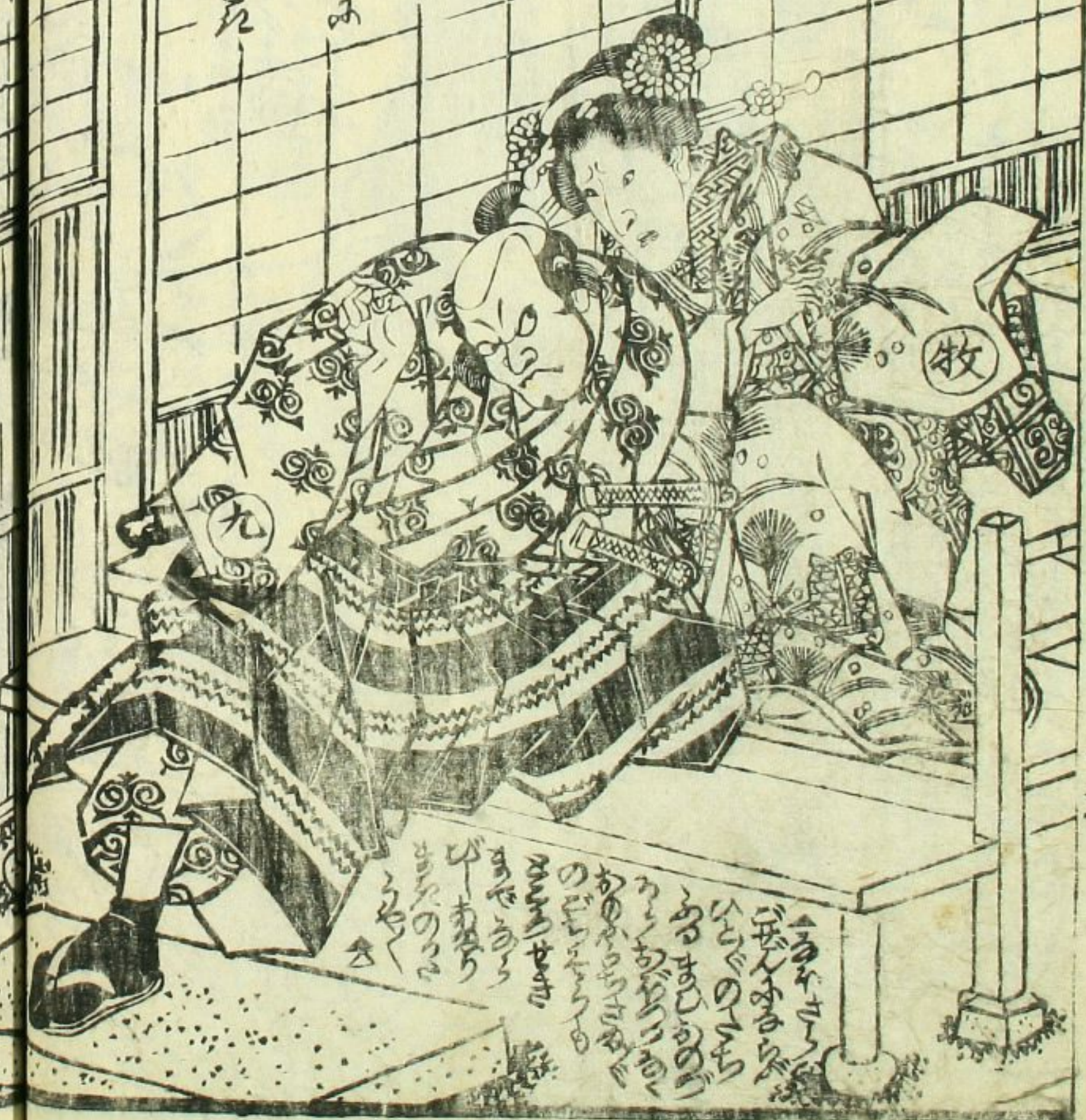






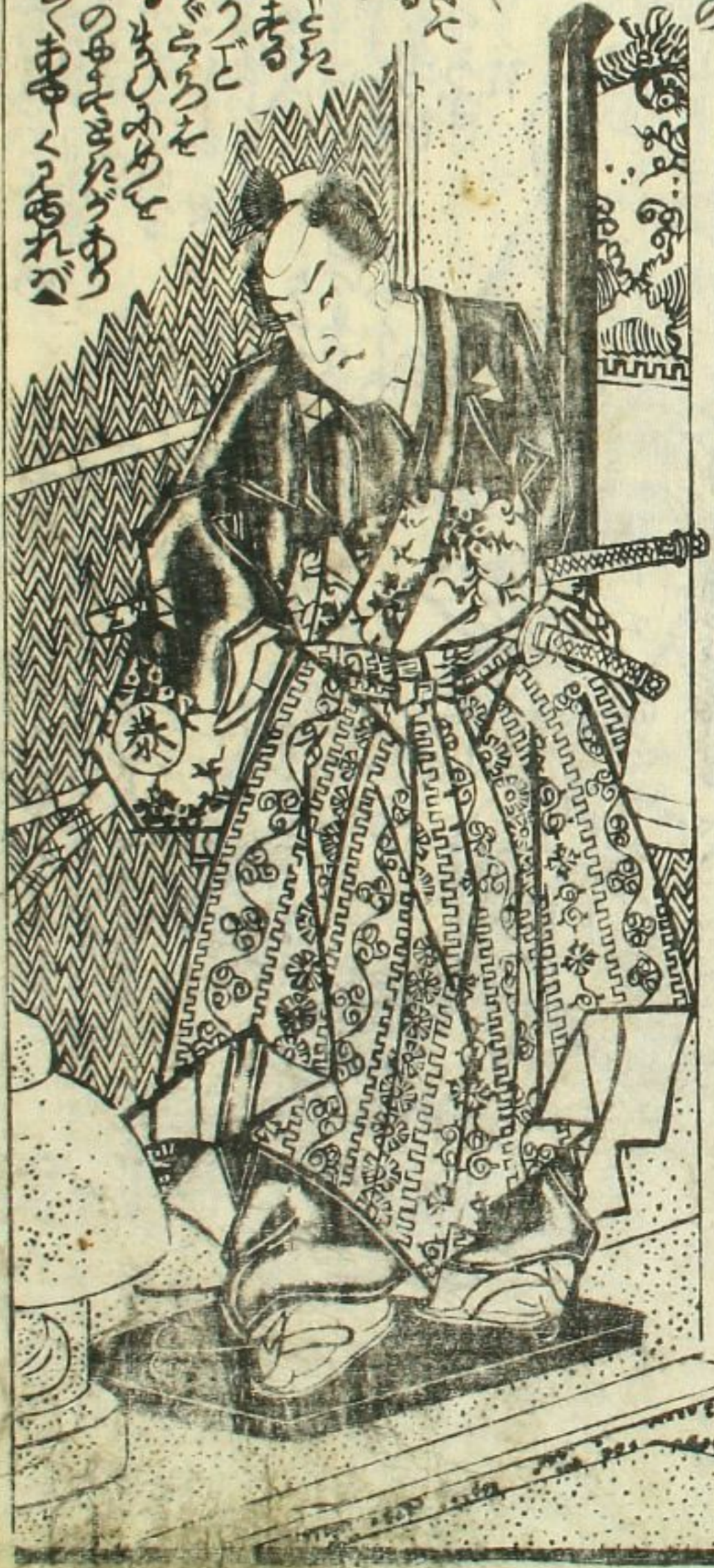


Handwritten text in a cursive script, likely a form of shorthand or a specific dialect, spanning the top of both pages.



Small handwritten text located below the illustration on the right page.

西山之雲如峯



Small handwritten text located to the left of the illustration on the left page.

Handwritten text in a cursive script, likely a continuation of a narrative or dialogue.

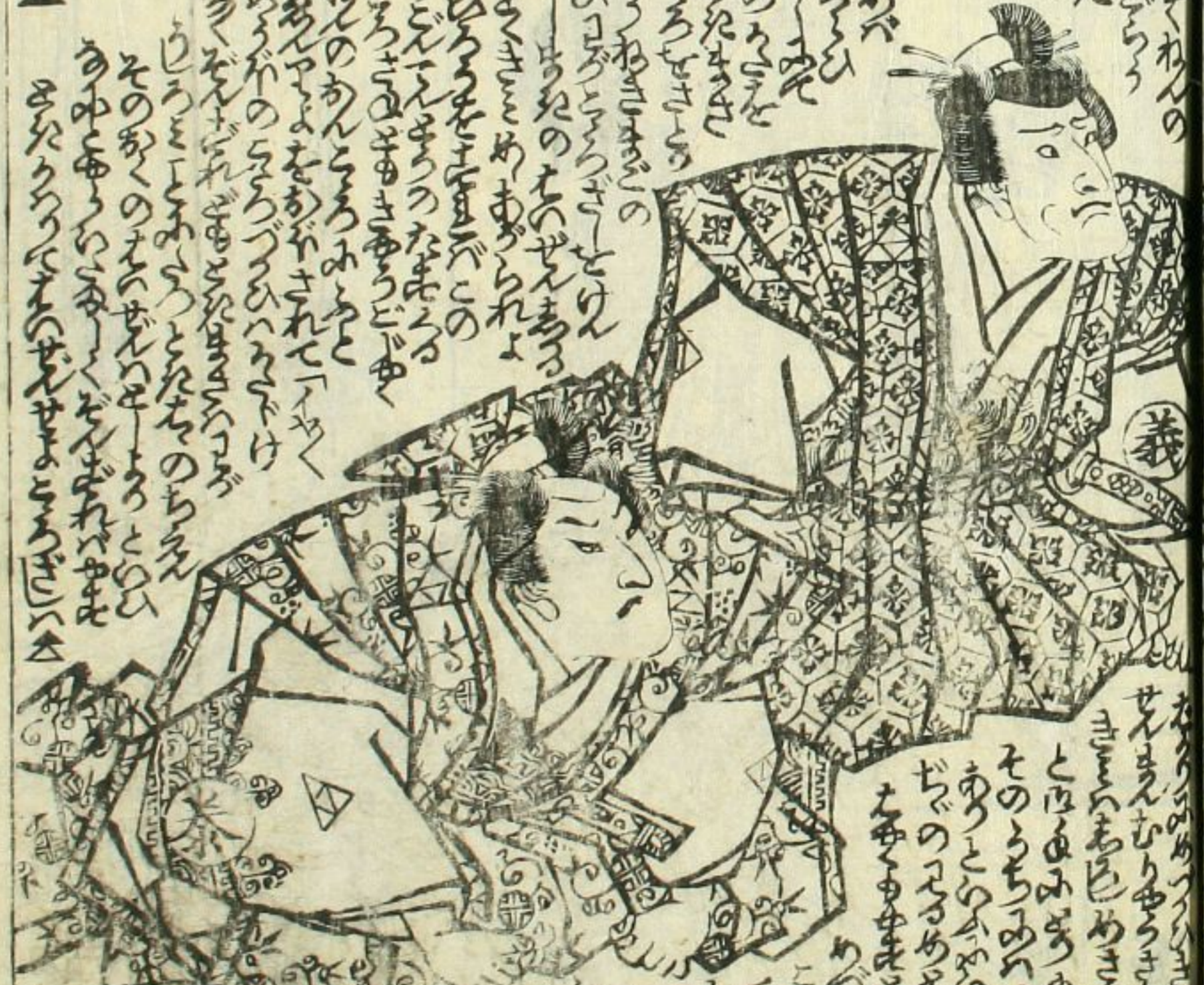


Handwritten text on the right side of the top page, adjacent to the illustration.

Handwritten text on the left side of the top page, adjacent to the illustration.

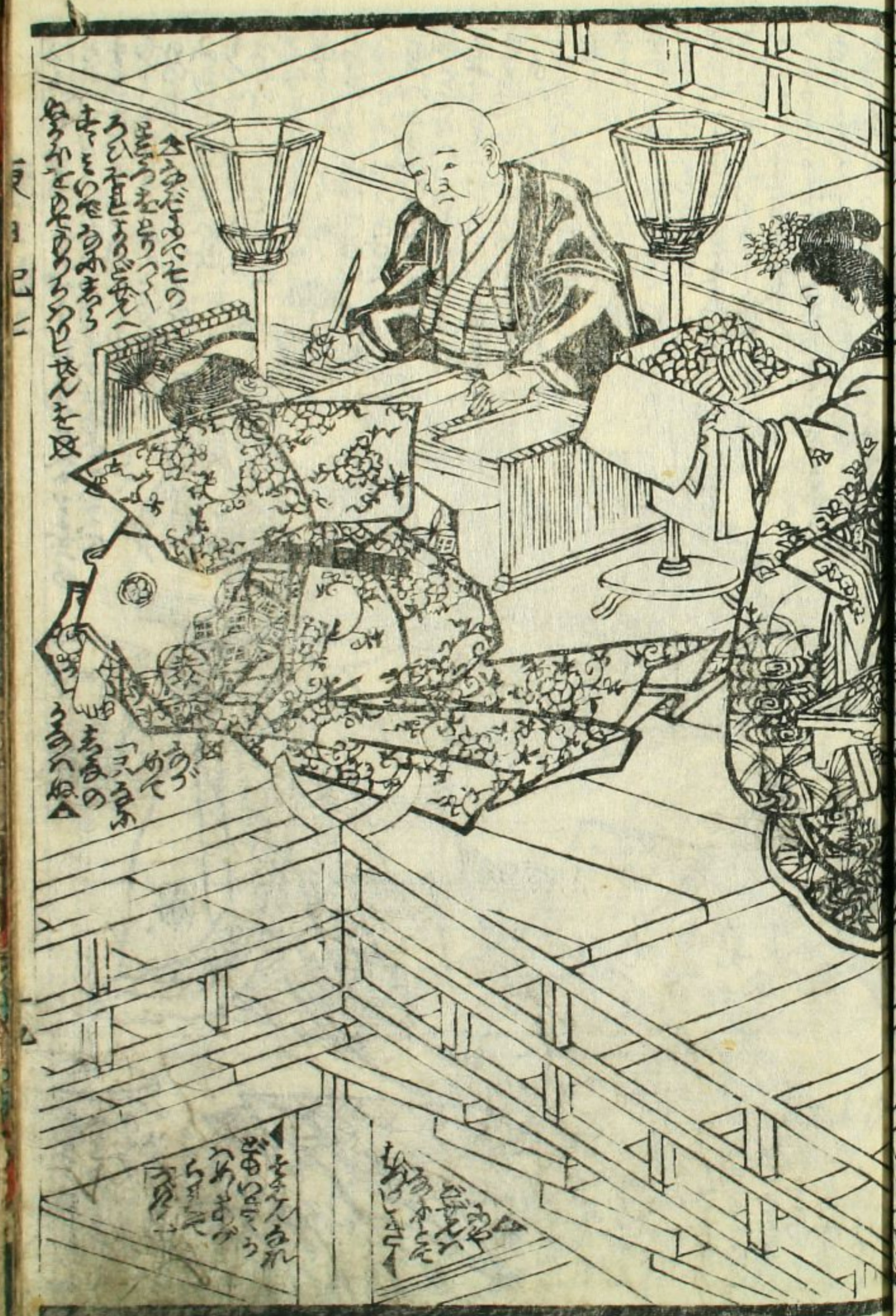
Handwritten text on the right side of the bottom page, continuing the text from the top page.

Handwritten text on the left side of the top page, providing context for the scene.



Handwritten text on the left side of the bottom page, below the illustration.



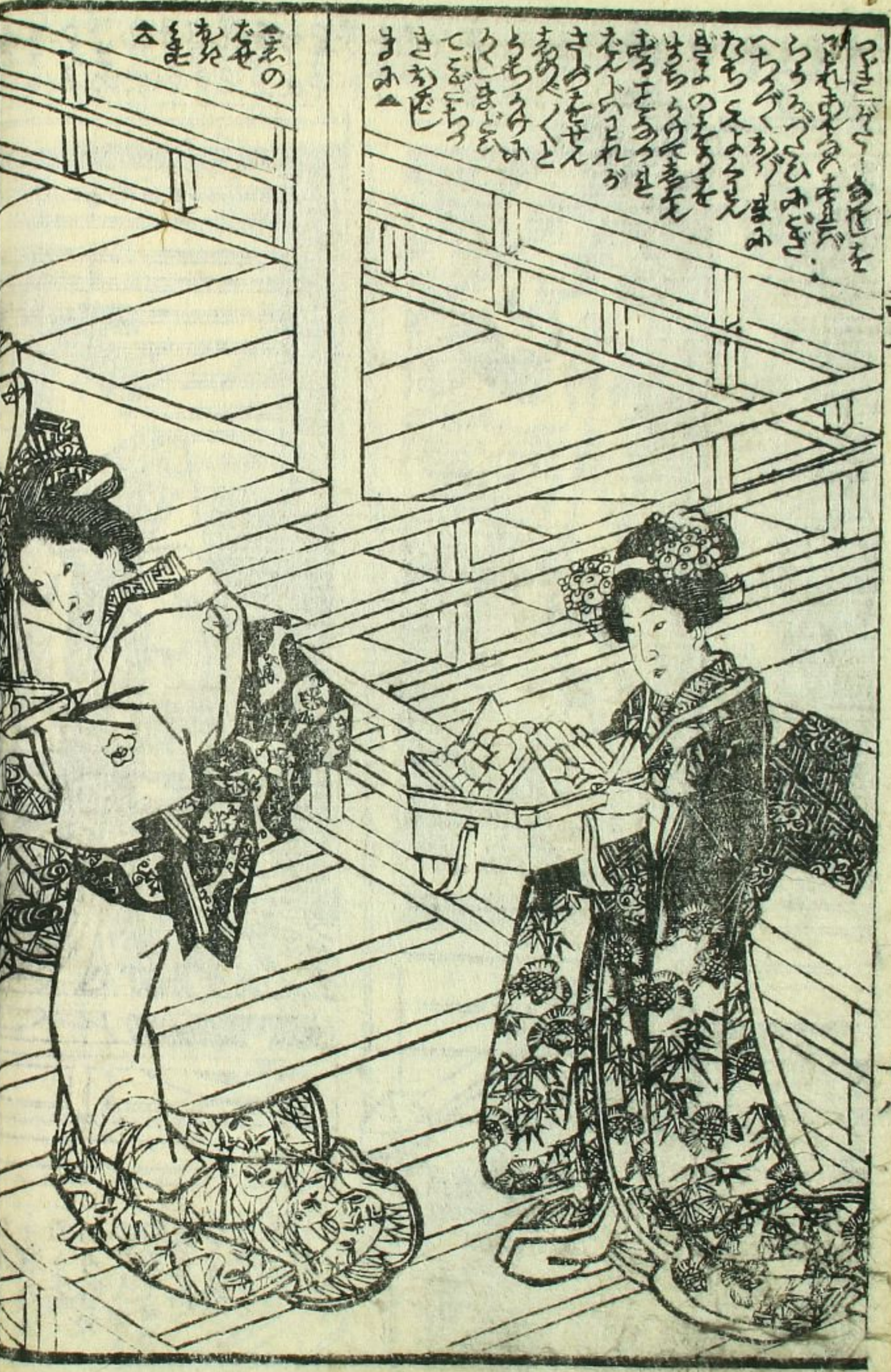


本屋の  
 本屋の  
 本屋の

本屋の  
 本屋の  
 本屋の

本屋の  
 本屋の  
 本屋の

本屋の  
 本屋の  
 本屋の



本屋の  
 本屋の  
 本屋の

本屋の  
 本屋の  
 本屋の



あはれにさしつかへなく  
まはるまはるの御座り  
おのれと申すは  
あはれにさしつかへなく  
まはるまはるの御座り  
おのれと申すは



あはれにさしつかへなく  
まはるまはるの御座り  
おのれと申すは

あはれにさしつかへなく  
まはるまはるの御座り  
おのれと申すは  
あはれにさしつかへなく  
まはるまはるの御座り  
おのれと申すは



あはれにさしつかへなく  
まはるまはるの御座り  
おのれと申すは

丙辰初春錦橋堂新板目錄

万亭應賀作一猛齋芳虎画



教草女房形氣

十六編 山東菴京山作  
十七編 梅蝶樓國貞画  
十八編

名香坊 五拾三驛

初編 雪住作  
六編 芳虎画

名香屋

濡燕摺妻紙  
五編 調布作  
揃同画

涉所 万亭應賀作

七編 万亭應賀作  
八編  
九編 一猛齋芳虎画

品定五人娘

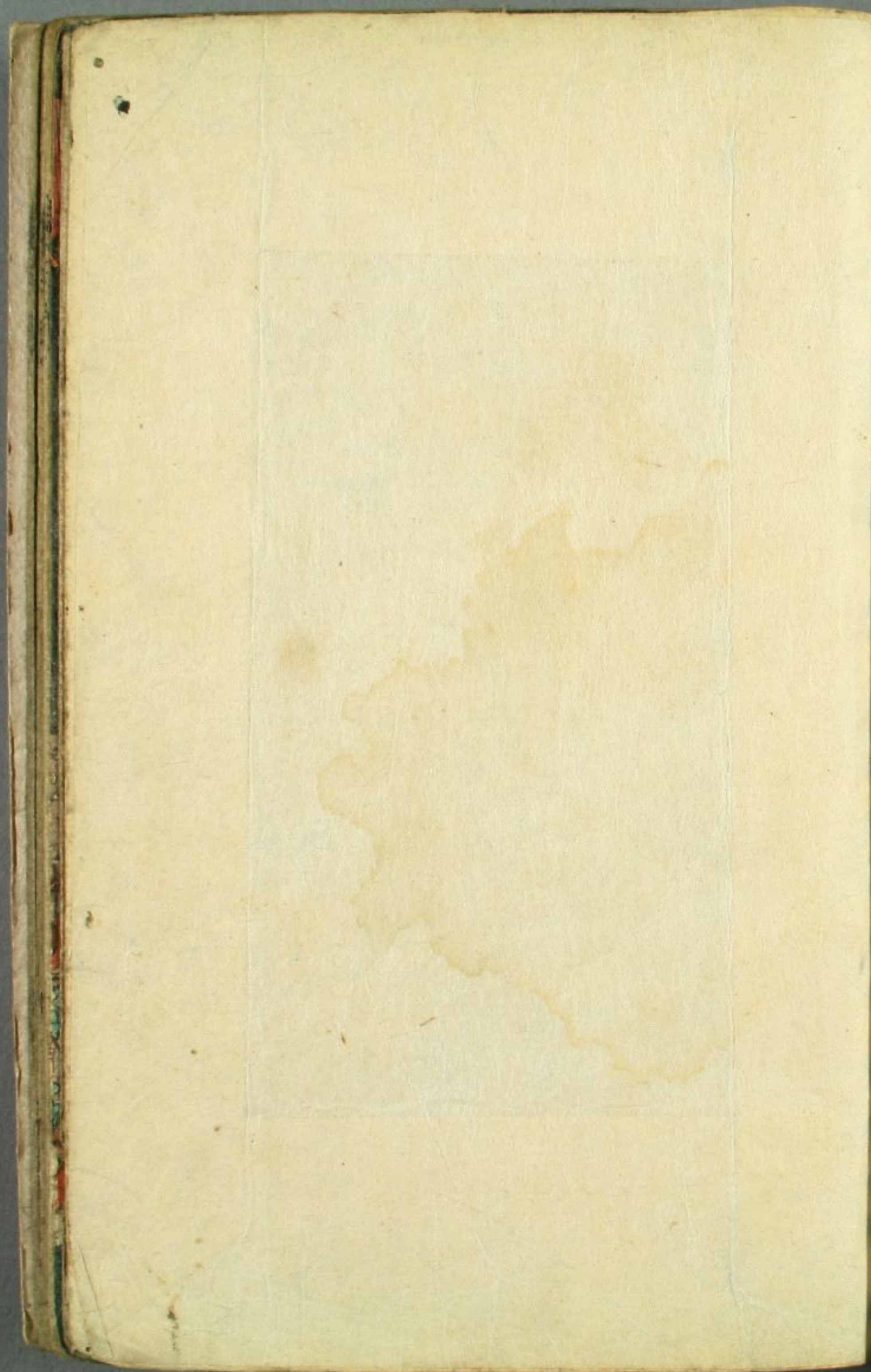
六編 京山作  
七編 芳虎画  
結鹿子紺屋説  
三編 花咲作  
四編 豊國画

豆利脩手深紫

十八編 松亭金水作  
十九編 梅蝶樓國貞画  
二十編

造榮櫻叢紙

十編 梅彦作  
大尾 芳虎画  
庄 錦繪問屋  
江戶中橋廣小路  
庄兵衛改  
山田屋庄次郎



五  
六  
七  
八  
九  
十  
十一  
十二  
十三  
十四  
十五  
十六  
十七  
十八  
十九  
二十

八

拾  
五

拾  
五  
十  
五  
十

吾妻日記八編

万亭應賀作

錦朝樓芳虎画

上



飯嶋藏

重寶記

蕪鉄比葉の

枯たる成 黒焼

貯へ置べし

切疵等の大妙薬あり

又土用はらちの茄子は花由

黒焼ゆて用ひてよしとて



錦梅多  
美の持

御所奉公東日記八編

家小争論子あるに其父他人の侮を受むと云むに其

金言る北條時政大罪を殘し息義時不其識と讓

孝子泰時在が由名他人其非を敢て改め若

泰時不在バ多しを義時二代の執権み居へる君み

内縁あるといひ人とも皆孝子の祖父及び父み毎々

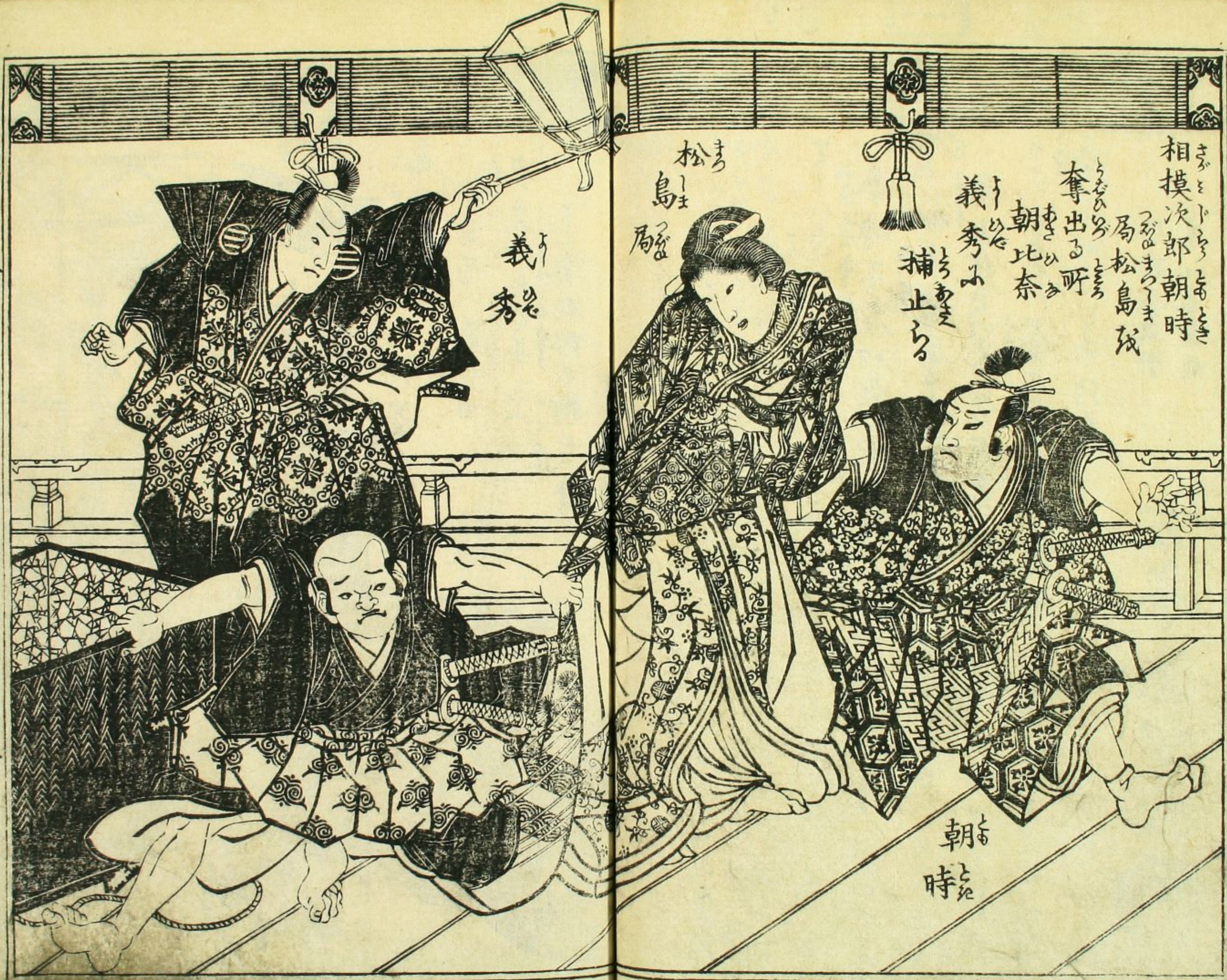
争ふ成りゆき然且其榮身鎌倉山は星月夜照

りとは是バ曇りぬる其の有様をおぼ多し由唯

章ふゆきハミヤシ

安政五戊午  
歳初春新刻

万亭應賀誌

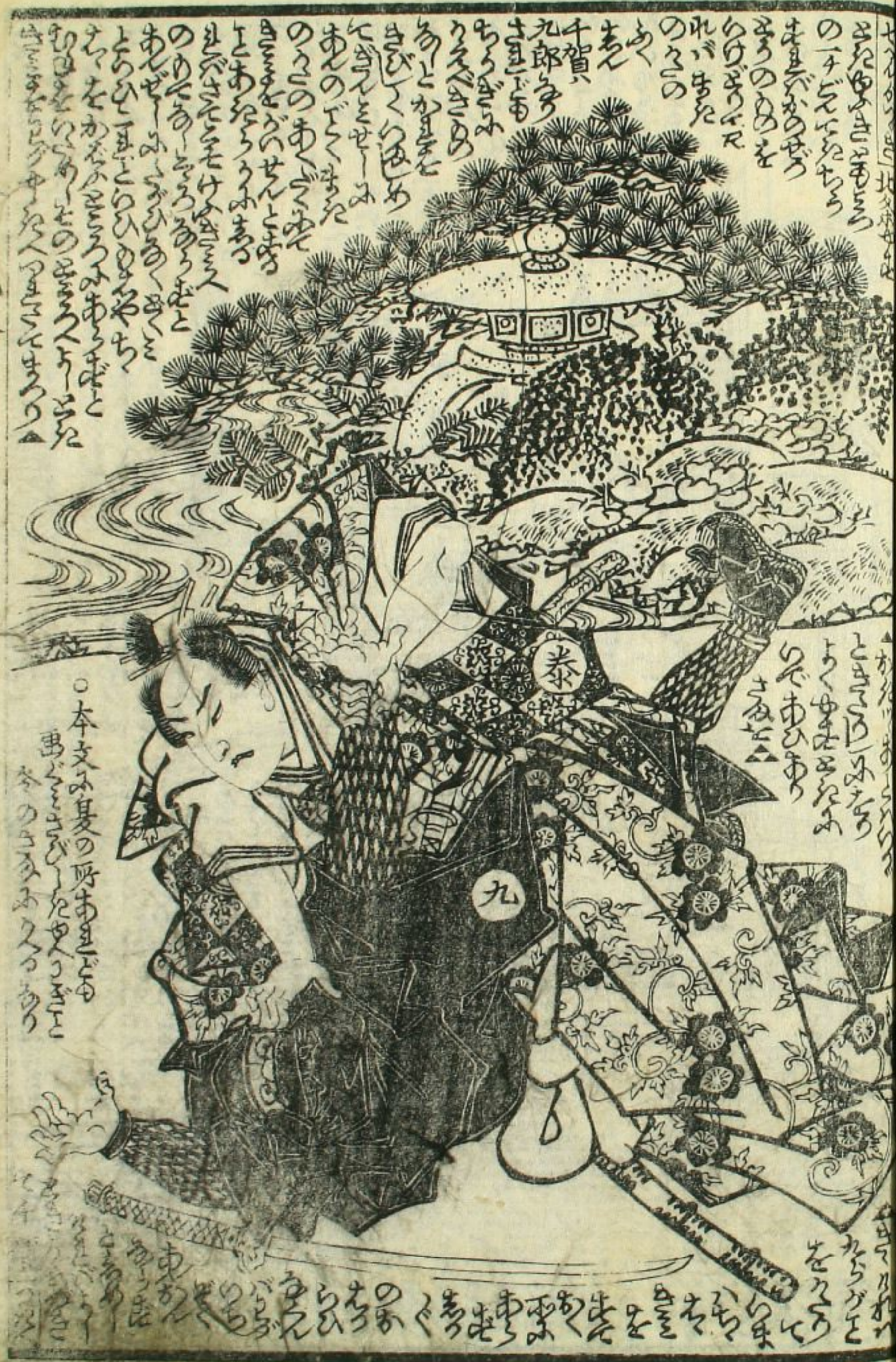


義秀

松島屋

相模次郎朝時  
 奪出る所  
 局松島茂  
 義秀小  
 捕止らる

朝時



千賀  
 九郎多  
 松島局  
 御臺所  
 御臺所より  
 松島局へ義永の  
 妻なるを尋ね  
 義實朝郷の御口入り

○本文の夏の間は  
 馬のよみたるは  
 本の上のよみたる

松島局の御口入り  
 義永の妻なるを尋ね  
 義實朝郷の御口入り



御臺所  
 御臺所より  
 松島局へ義永の  
 妻なるを尋ね  
 義實朝郷の御口入り

京上臈  
 松島局

松島局の御口入り  
 義永の妻なるを尋ね  
 義實朝郷の御口入り





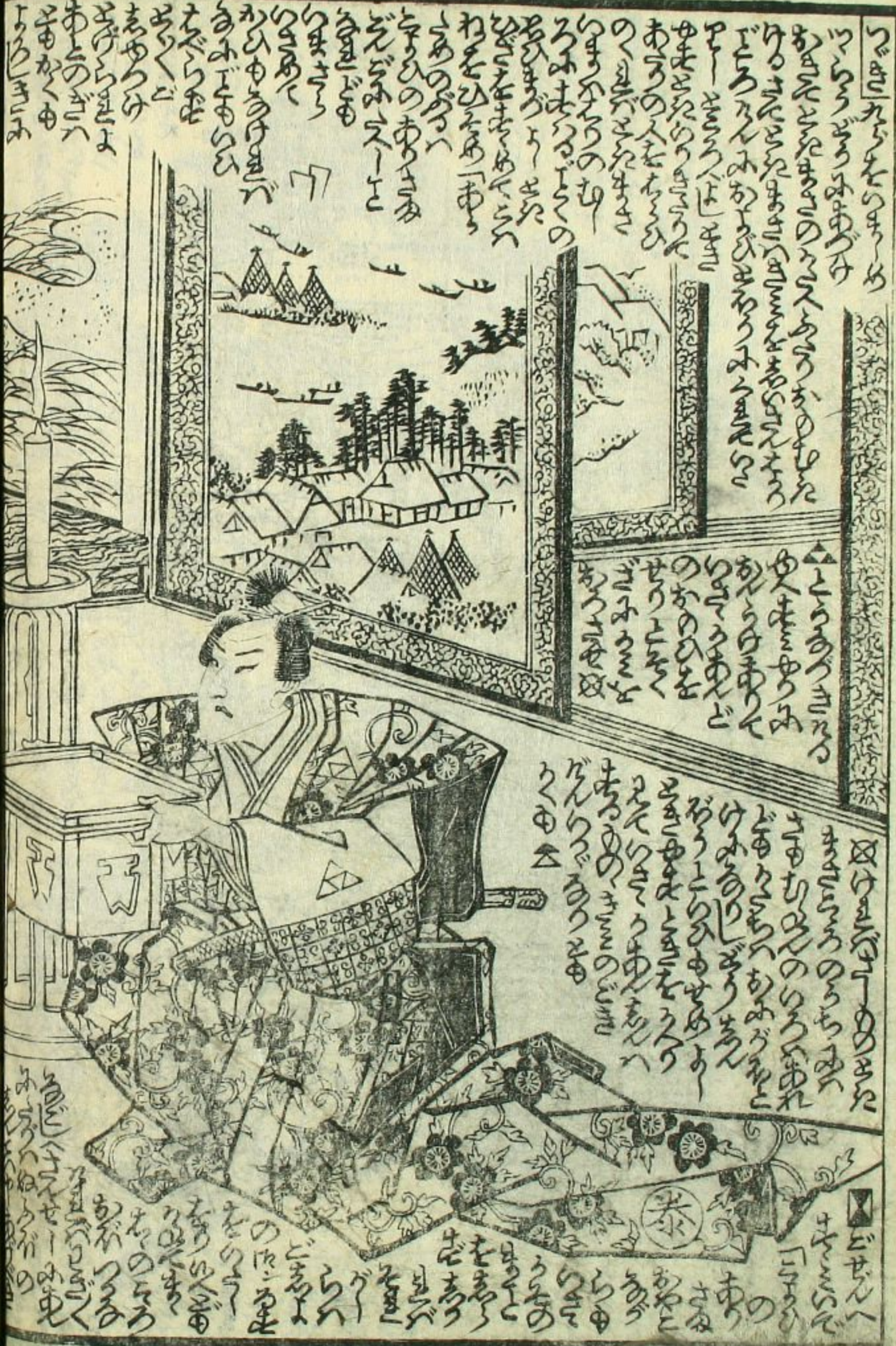
あつちの  
あつちの  
あつちの

あつちの  
あつちの  
あつちの

あつちの  
あつちの  
あつちの

あつちの  
あつちの  
あつちの

あつちの  
あつちの  
あつちの



あつちの  
あつちの  
あつちの

あつちの  
あつちの  
あつちの

あつちの  
あつちの  
あつちの

あつちの  
あつちの  
あつちの



何れも此の御座り候はる

何れも此の御座り候はる

何れも此の御座り候はる

何れも此の御座り候はる



何れも此の御座り候はる

何れも此の御座り候はる

何れも此の御座り候はる

何れも此の御座り候はる

何れも此の御座り候はる

何れも此の御座り候はる

何れも此の御座り候はる







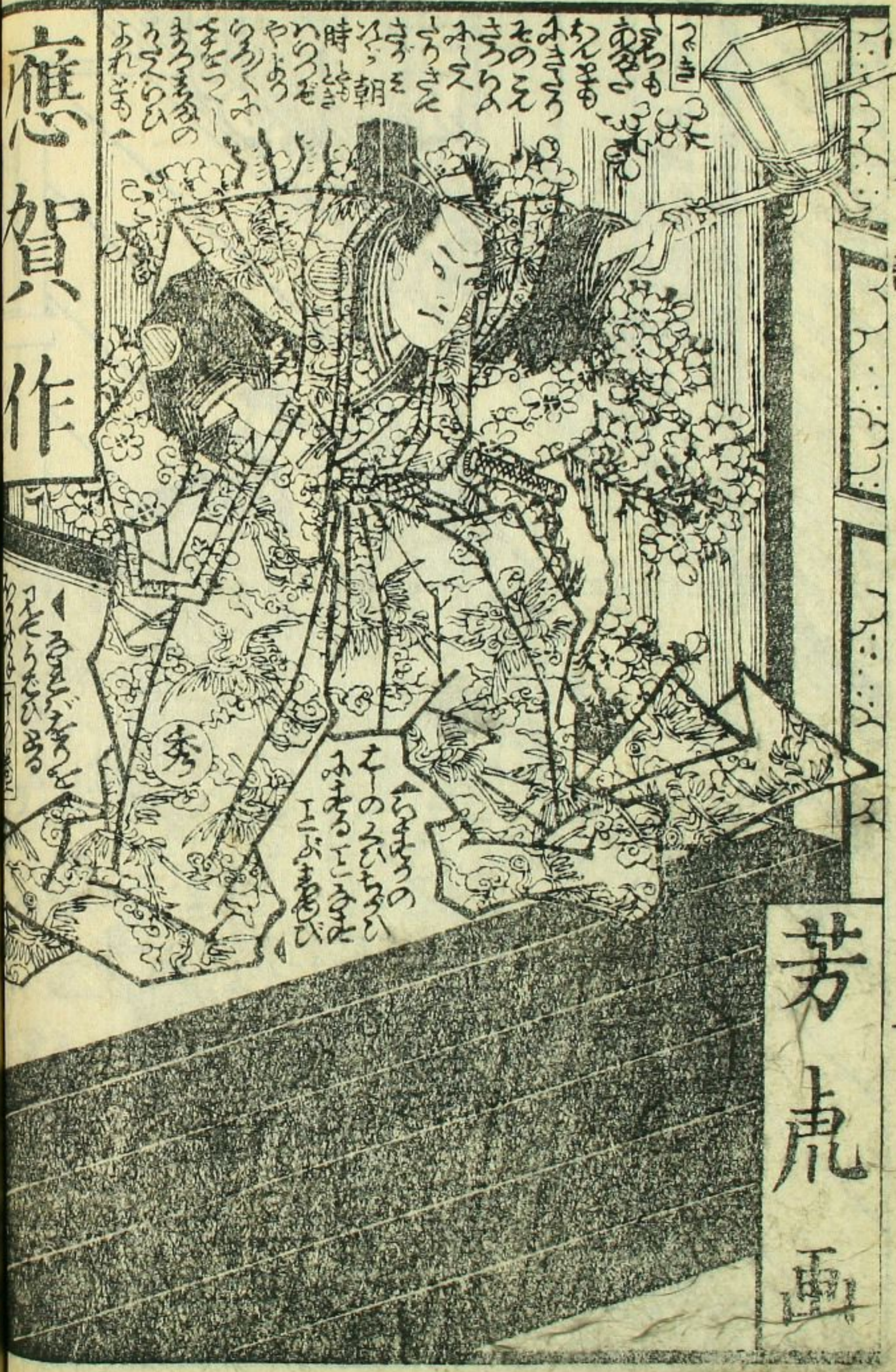






戊午春錦橋堂新板

應賀作



芳虎画

浮寐鳥朧連

五編空中樓花咲作  
揃一陽齋豊國画

葛葉丸重錦

五編万亭應賀作  
揃一陽齋豊國画

英雄五弁

五編万亭應賀作  
揃一陽齋豊國画

雉鳴世湯壽

紅摺  
大本 山東養京山作  
丹一陽齋豊國画

蒲角文素箱

中本形山 東 菴  
全冊京山 作

庄

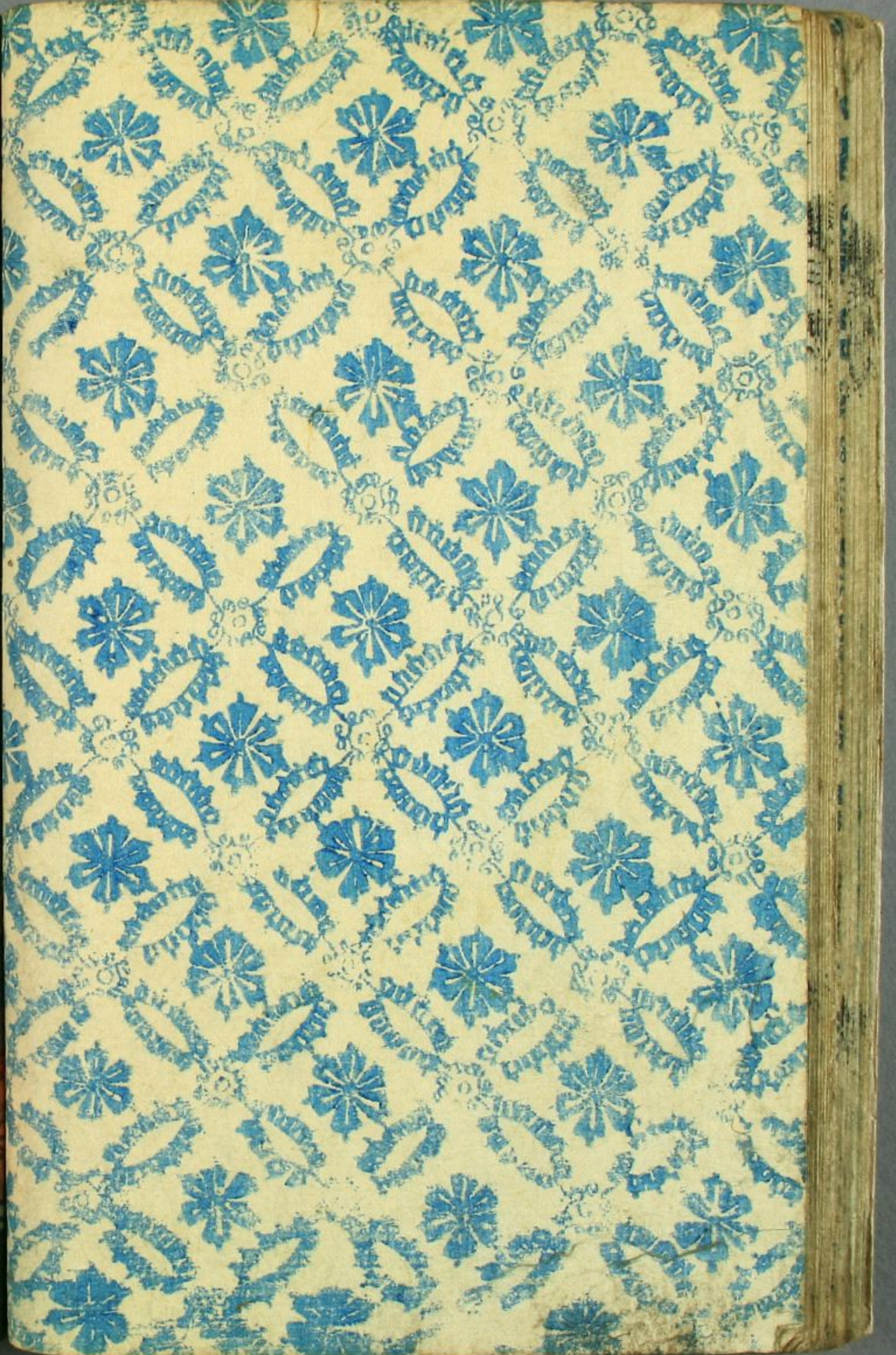
地本 江中橋廣小路  
錦繪 山田屋庄次郎

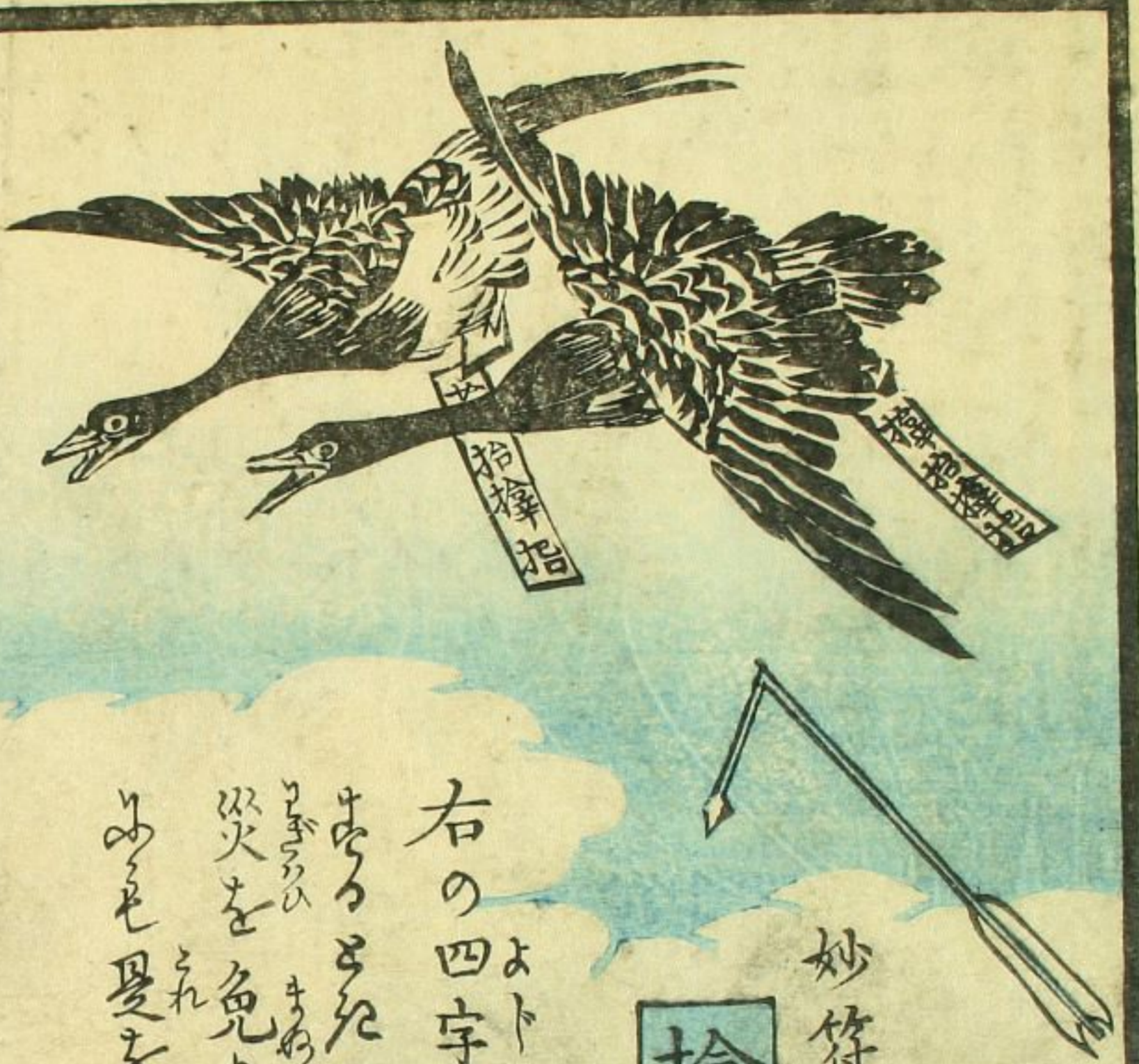
寐小使の太奇藥

小使男女早白一色と修る薬方

御藥 固齧散 大泉百編  
功 一血のぐる 一血のぐる  
能 一血のぐる 一血のぐる  
清淨 白妙 一包代  
精製 北二銅







重寶記

妙符は字

# 捍招捍招

右の四字を紙に認め懐中  
よつと  
するそだの難及びのりの  
災を免るゝと疑ひは鳥獣  
みも夏を付るそだの弓鉄炮の由  
中らぬ

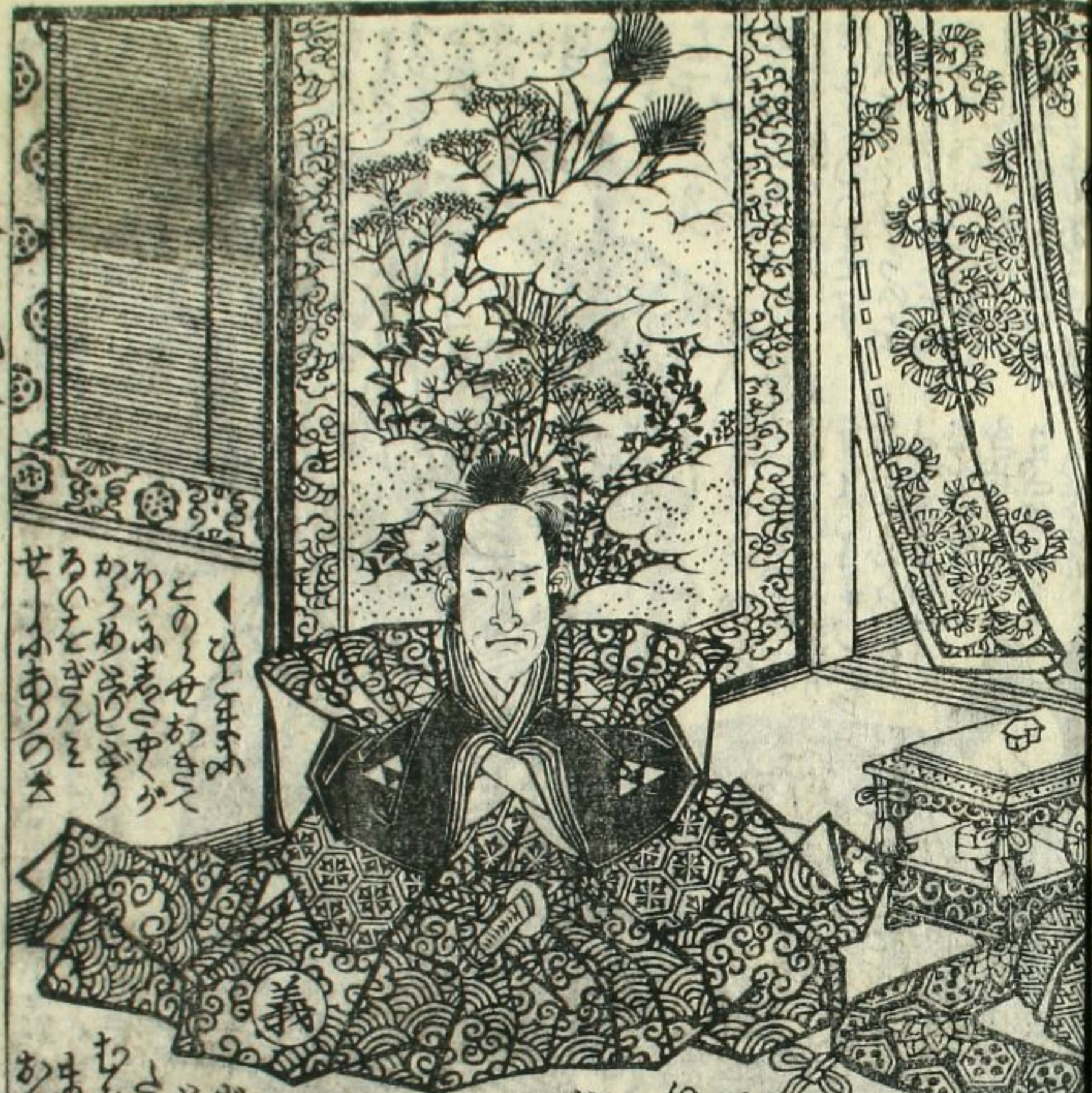


An illustration of two figures in traditional Japanese clothing. The figure on the left is standing and holding a tray with a bowl on it. The figure on the right is seated or kneeling, looking towards the standing figure. The background is filled with vertical columns of handwritten text.

上の巻の... 中らぬ... 妙符は字... 重寶記... 捍招捍招...

右の四字を紙に認め懐中... 妙符は字... 重寶記... 捍招捍招...

中らぬ... 妙符は字... 重寶記... 捍招捍招...



このいせあつてん  
 ねふまきの中ぐ  
 かりめさしきう  
 ろいをきんこ  
 せふありの本

このいせあつてん  
 ねふまきの中ぐ  
 かりめさしきう  
 ろいをきんこ  
 せふありの本  
 ...  
 ...  
 ...



このいせあつてん  
 ねふまきの中ぐ  
 かりめさしきう  
 ろいをきんこ  
 せふありの本

このいせあつてん  
 ねふまきの中ぐ  
 かりめさしきう  
 ろいをきんこ  
 せふありの本

このいせあつてん  
 ねふまきの中ぐ  
 かりめさしきう  
 ろいをきんこ  
 せふありの本  
 ...  
 ...  
 ...

Handwritten text in a cursive script, likely a form of Japanese calligraphy, located at the top of the left page.

Handwritten text in a cursive script, located in the middle section of the left page.

Handwritten text in a cursive script, located at the bottom of the left page.



Handwritten text in a cursive script, located at the top of the right page.



Handwritten text in a cursive script, located at the bottom of the right page.

Vertical text on the left margin of the left page.

Vertical text on the left margin of the left page.

Vertical text on the right margin of the right page.

Vertical text on the right margin of the right page.



Handwritten text in a cursive script, likely a form of shorthand or a specific dialect, located at the top of the right page.



Handwritten text in a cursive script, located at the bottom of the right page.

Vertical handwritten text on the left side of the right page.

Vertical handwritten text on the left side of the right page.

Vertical handwritten text on the left side of the right page.



Handwritten text in a cursive script, located at the bottom of the left page.

Handwritten text in a cursive script, located at the top of the left page.







うきうき  
さかき  
あはれ  
うきうき  
さかき  
あはれ  
うきうき  
さかき  
あはれ  
うきうき  
さかき  
あはれ  
うきうき  
さかき  
あはれ



うきうき  
さかき  
あはれ  
うきうき  
さかき  
あはれ  
うきうき  
さかき  
あはれ  
うきうき  
さかき  
あはれ  
うきうき  
さかき  
あはれ



山崎



朝時義時の勘當

Multiple columns of vertical Japanese text surrounding the illustration, including a small illustration of a horse.



泰時父義時と深し

Multiple columns of vertical Japanese text surrounding the illustration, including a small illustration of a horse.









物  
屋

物  
屋

物  
屋

早稲田大学図書館

011688991732